



Windows ホストの修正

ONTAP 7-Mode Transition

NetApp
October 09, 2025

目次

Windows ホストの修正	1
Windows ホストでの移行準備	1
Inventory Collect Tool の概要	2
カットオーバーフェーズ前の Windows ホスト上の移行した LUN のテスト	2
Windows ホスト移行時のカットオーバーフェーズの準備	3
移行後に Windows ホストをオンラインにします	4
SAN ホストを ONTAP に移行する際の例外と既知の問題	5

Windows ホストの修正

7-Mode Transition Tool (7MTT) を使用して Data ONTAP 7-Mode から clustered Data ONTAP に移行する場合は、特定の手順を実行して Windows ホストで移行準備を行う必要があります。また、カットオーバーフェーズに備えて特定の手順を実行し、移行後に Windows ホストをオンラインにする必要があります。

- 関連情報 *

[Windows ホストでの移行準備](#)

[Windows ホスト移行時のカットオーバーフェーズの準備](#)

[移行後に Windows ホストをオンラインにします](#)

Windows ホストでの移行準備

Windows ホストを Data ONTAP 7-Mode から clustered Data ONTAP に移行する前にいくつかの手順を実行する必要があります。

この手順環境コピーベースの移行とコピーフリーの移行の 2 つです。



Windows 2003 を使用している場合は、Windows 2008 にアップグレードする必要があります。Host Remediation Tool (HRT) は Windows Server 2003 ではサポートされていません。このツールを適切に実行するには、Windows Server 2008 以降が必要です。

手順

1. 移行する LUN のシリアル番号、ID、および対応する Windows 物理ディスク番号を特定します。
 - Data ONTAP DSM を実行しているシステムの場合は、Data ONTAP DSM Management Extension Snap-In (Server Manager または「Get-SanDisk」 Windows PowerShell コマンドレットからアクセス可能) を使用します。
 - MSDSM を実行しているシステムの場合は、Inventory Collect Tool (ICT) を使用します。
2. 移行が完了したら、ホストから LUN を認識できるようにします。
 - 移行している LUN が FC LUN または FCoE LUN の場合は、ファブリックゾーニングを作成または変更します。
 - 移行している LUN が iSCSI LUN の場合は、clustered Data ONTAP コントローラに接続する iSCSI セッションを作成します。
3. ICT を使用して Inventory Assessment Workbook を生成します。
 - 関連情報 *

["SAN の設定"](#)

Inventory Collect Tool の概要

Inventory Collect Tool (ICT) は、7-Mode ストレージコントローラ、コントローラに接続されたホスト、およびホストで実行されているアプリケーションに関する設定およびインベントリ情報を収集して、システムの移行準備状況を評価するためのスタンドアロンユーティリティです。ICT を使用して、移行に必要な LUN および設定に関する情報を生成できます。

ICT を使用すると、_Inventory Assessment Workbook とストレージシステムとホストシステムの設定の詳細が格納されたインベントリレポート XML ファイルが生成されます。

ICT は、ESXi 5.x、ESXi 6.x、および Windows ホストで使用できます。

カットオーバーフェーズ前の Windows ホスト上の移行した LUN のテスト

7-Mode Transition Tool (7MTT) 2.2 以降および Data ONTAP 8.3.2 以降を使用して Windows ホスト LUN を移行する場合は、移行した clustered Data ONTAP LUN をテストして、カットオーバーフェーズの前にディスクをオンラインにできること、およびアプリケーションが想定どおりに動作することを確認できます。ソースホストでは、テスト中もソースの 7-Mode LUN への I/O を引き続き実行できます。

7-Mode LUN を移行できる状態にしておく必要があります。

テスト用ホストとソースホスト間のハードウェアパリティを維持し、テスト用ホストで以下の手順を実行する必要があります。

clustered Data ONTAP LUN は、テスト時には読み取り / 書き込みモードになります。テストが完了してカットオーバーフェーズの準備を行う段階で、読み取り専用モードに切り替わります。

手順

1. ベースラインデータコピーが完了したら、7MTT ユーザインターフェイス (UI) で「* Test Mode」を選択します。
2. 7MTT UI で、* 構成の適用 * をクリックします。
3. 7-Mode から clustered Data ONTAP への LUN マッピングファイルを生成します。

- コピーベースの移行の場合は、7MTT がインストールされているホストから次のコマンドを実行します。 `** transition cbt export lunmap -p project-name -o file_path*`

例：

```
*transition cbt export lunmap -p SanWorkLoad-o c:\Libraires/Documents/7-C-lun-mapping.csv *
```

- コピーフリーの移行の場合は、7MTT がインストールされているシステムから次のコマンドを実行します。 `** transition cft export lunmap -p project-name _s_s_s_s_SVM_name_o_output-file`



このコマンドはそれぞれの Storage Virtual Machine (SVM) に対して実行する必要があります。

例：

```
*transition cft export lunmap -p SANWorkLoad -s svml -o c : /Libraries/Documents/7-C-lun-mapping-svml.csv *
```

4. 移行したディスクとアプリケーションをオンラインにします。

- 移行したディスクがクラスタフェイルオーバーの対象でない場合は、Windows ディスクマネージャを使用してディスクをオンラインにします。
- 移行したディスクがクラスタフェイルオーバーの対象である場合は、クラスタフェイルオーバーマネージャを使用してディスクをオンラインにします。

5. 必要に応じてテストを実行します。

6. テストが完了したら、アプリケーションとディスクをオフラインにします。

- 移行したディスクがクラスタフェイルオーバーの対象でない場合は、Windows ディスクマネージャを使用してディスクをオフラインにします。
- 移行したディスクがクラスタフェイルオーバーの対象である場合は、クラスタフェイルオーバーマネージャを使用してディスクをオフラインにします。

clustered Data ONTAP LUN をソースホストに再マッピングする場合は、ソースホストをカットオーバーフェーズ用に準備する必要があります。clustered Data ONTAP LUN をテスト用ホストにマッピングしたままにする場合、テスト用ホストでこれ以上の手順を実行する必要はありません。

Windows ホスト移行時のカットオーバーフェーズの準備

Windows ホストを Data ONTAP 7-Mode から clustered Data ONTAP に移行する場合は、移行の開始後、カットオーバーフェーズを開始する前にいくつかの手順を実行する必要があります。

Data ONTAP DSM を実行している場合は、サーバにインストールされている Data ONTAP DSM のバージョンが、ターゲットの clustered Data ONTAP ノードで実行されている Data ONTAP のバージョンでサポートされている必要があります。

MSDSM を実行している場合は、サーバにインストールされている Windows Host Utilities のバージョンが、ターゲットの clustered Data ONTAP ノードで実行されている Data ONTAP のバージョンでサポートされている必要があります。

- コピーベースの移行の場合は、7-Mode Transition Tool (7MTT) でストレージカットオーバー処理を開始する前に以下の手順を実行します。
- コピーフリーの移行の場合は、7MTT で 7-Mode のエクスポートおよび停止処理を開始する前に以下の手順を実行します。

手順

1. ディスクマネージャを使用して、移行するディスクをオフラインにします。
2. ホストが SAN からブートされ、ブート LUN を移行中の場合は、ブートホストをシャットダウンします。

3. ホストがクラスタ構成の場合は、フェイルオーバークラスタマネージャを使用して、クォーラムディスクを含むクラスタディスクをオフラインにします。
4. ホストが Windows Server 2003 を実行していて、クォーラムデバイスを移行する必要がある場合は、すべてのクラスタノードでクラスタサービスを停止します。
5. Hyper-V が有効になっているサーバの LUN を移行する場合は、ゲストオペレーティングシステムに適した移行手順をホスト側で実行します。
6. Hyper-V が有効になっているサーバで LUN を移行していて、移行対象の Data ONTAP LUN にゲスト OS のブートデバイスがある場合は、次の手順を実行します。
 - a. ゲスト OS をシャットダウンします。
 - b. 親システムで対応するディスクをオフラインにします。

移行後に Windows ホストをオンラインにします

Windows ホスト用の 7-Mode Transition Tool (7MTT) を使用して LUN を移行したら、いくつかの手順を実行してホストをオンラインにし、データの提供を再開する必要があります。

コピー・フリーの移行 (CFT) を実行している場合は 'vol rehost の手順を完了する必要がありますを参照してください "『[7-Mode Transition Tool Copy-Free Transition Guide](#)』" を参照してください。

- コピーベースの移行 (CBT) の場合は、7-Mode Transition Tool (7MTT) でストレージカットオーバー処理を完了したあとに以下の手順を実行します。
- CFT の場合は、7MTT でデータと設定のインポート処理を完了したあとに以下の手順を実行します。
 - a. 7-Mode から ONTAP への LUN マッピングファイルを生成します。

- コピーベースの移行の場合は、7MTT がインストールされているホストから次のコマンドを実行します。 `** transition cbt export lunmap -p project-name -o file_path*`

例：

```
*transition cbt export lunmap -p SanWorkLoad-o c:\Libraires/Documents/7-C-lun-mapping.csv *
```

- コピーフリーの移行の場合は、7MTT がインストールされているシステムから次のコマンドを実行します。 `** transition cft export lunmap -p project-name _s_s_s_s_s_o_output-file*`



このコマンドはそれぞれの Storage Virtual Machine (SVM) に対して実行する必要があります。

例：

```
*transition cft export lunmap -p SANWorkLoad -s svml -o c : /Libraries/Documents/7-C-lun-mapping-svml.csv *
```

- a. Windows ホストが SAN ブートされていて、ブート LUN が移行された場合は、ホストの電源をオンにします。

- b. FC BIOS を更新して、clustered Data ONTAP コントローラ上の LUN からシステムをブートできるようにします。

詳細については、HBA のドキュメントを参照してください。

- c. Windows ホストで、ディスクマネージャからディスクを再スキャンします。
- d. ホストにマッピングされている LUN の LUN シリアル番号、LUN ID、および対応する Windows 物理ディスク番号を取得します。
 - Data ONTAP ONTAPDSM を実行しているシステムの場合：Data ONTAP DSM Management Extension Snap-In または Get-SanDisk Windows PowerShell コマンドレットを使用します。
 - MSDSM を実行しているシステムの場合：Inventory Collect Tool（ICT）を使用します。

LUN ID、LUN シリアル番号、および対応するシリアル番号は、[SAN Host LUNs] タブでキャプチャされます。

- e. LUN の LUN シリアル番号、ID、および対応する Windows 物理ディスク番号と、LUN マップの出力、および移行前の状態で収集されたデータを使用して、LUN が正常に移行されたかどうかを確認します。
- f. 移行した LUN の物理ディスク番号が変わっているかどうかを確認します。
- g. ディスクをオンラインにします。
 - クラスタフェイルオーバーの対象ではないディスクをオンラインにするには、Windows ディスクマネージャを使用します。
 - クラスタフェイルオーバーの対象のディスクをオンラインにするには、フェイルオーバークラスタマネージャを使用します。
- h. 移行するホストが Windows Server 2003 を実行していて、クォーラムデバイスを移行済みの場合は、すべてのクラスタノードでクラスタサービスを開始します。
- i. ホストで Hyper-V が有効になっていて、パススルーデバイスが VM に設定されている場合は、Hyper-V Manager から設定を変更します。

移行の結果、パススルーデバイスに対応する LUN の物理ディスク番号が変わる可能性があります。

- 関連情報 *

[Inventory Collect Tool の概要](#)

SAN ホストを ONTAP に移行する際の例外と既知の問題

Data ONTAP 7-Mode から新しいバージョンの ONTAP に SAN ホストを移行する場合は、一定の例外および既知の問題を把握しておく必要があります。

- ファイルタイプとして VHD または VHDX のみを使用する Hyper-V 仮想マシン（VM）を移行する場合は、7-Mode Transition Tool（7MTT）の代わりにストレージのライブマイグレーションを使用できません。

Hyper-V ストレージのライブマイグレーションの詳細については、Microsoft のドキュメントを参照してください。

- 7-Mode コントローラの両方のノードで同じ igroup 名を使用している場合、移行ツールが igroup の競合を解決できないことがあります。

バグ ID "[769715](#)"。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。